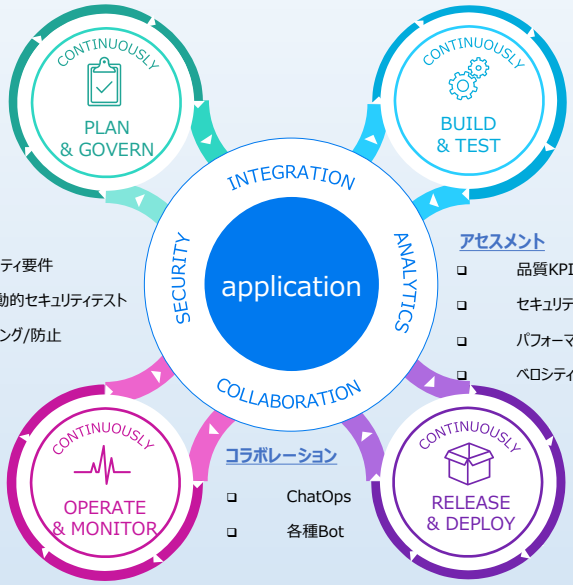
開発、テスト、セキュリティ、運用を網羅するEnterprise DevSecOpsを実現します

継続的な計画と統制

- ビジネス要求管理
- プロジェクトポートフォリオ管理
- GDPR 要求管理
- リソース管理
- アジャイル実行管理
- KPI メトリクスとダッシュボード

継続的なビルドとテスト

- ソースコードバージョン管理
- 影響分析によるテスト
- 静的/動的なセキュリティテスト
- 機能テスト
- パフォーマンス／負荷テスト
- サービス／ネットワーク仮想化



セキュリティ

- セキュリティ要件
- 静的/動的セキュリティテスト
- モニタリング/防止

アセスメント

- 品質KPI
- セキュリティKPI
- パフォーマンスKPI
- ベロシティKPI

コラボレーション

- ChatOps
- 各種Bot

継続的な運用と監視

- サービス管理
- アプリセキュリティ管理
- モバイルアプリの監視
- データセキュリティ
- 自動スケールアップ／ダウン
- アプリ／プラットフォーム／インフラ監視

継続的なリリースとデプロイ

- ハイブリッドクラウド管理
- アプリケーションリリース自動化
- デプロイ自動化
- モバイルのデプロイ管理
- Infra-as-code 管理
- コンテナワークロード管理

DevOps特設サイトはこちら

アプリケーションの約９割(※)がセキュリティ上の課題（脆弱性）を持っています

※MicroFocus®Software Security Research「2019 Application Security Risk Report」

脆弱性によってもたらされる被害額は平均でも4億円で、さらに高くなる傾向があります。
また、金銭的な損失にとどまらず、信頼を大きく損ない、機会損失やビジネス廃止に追い込まれることもあります。

情報漏えいまたは脅迫行為

- 組織の機密情報やお客様のクレジットカード番号等が窃取されます。
- また、盗んだ情報を“人質”に取り脅迫することもあります。（身代金要求）

フィッシングサイトへの誘導

- サイトにアクセスしたお客様が偽のサイトに誘導されて、個人情報を盗まれたり、金銭的な被害を被ります。

サーバーの乗っ取りや侵入

- 会社の内部に侵入し、数年に渡って情報の窃取を行ったり、ランサムウェアを仕掛けてさらに金銭を脅し取ろうとします。

アプリケーションの脆弱性を取り除き、安全にすることの難しさとは

- ユーザーを満足させる機能の実装に忙しくて、セキュリティは後回しになりがち。
- 開発チームやベンダーに依頼しようにもナレッジが無くて何をしたら良いか分からない。
- 全てのプロジェクトを見るにはセキュリティチームの人数が足りない。

Fortify はアプリケーションの脆弱性テストを簡単に実行できます

- 自動化ソリューションでコストを最大1/30に低減しつつ脆弱性を除去できます。
- 様々な業界標準に対応したテスト結果と充実した脆弱性修正ガイドを提供します。
- セルフサービスでの実行を基本としながらも、強力な集中管理機能を提供します。

Fortify特設サイトはこちら

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
jp-info-enterprise@microfocus.com
www.microfocus-enterprise.co.jp